



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

わが町

# 志津南

## NEWS

志津南ホームページ

http://waka-kusa.net/

発行  
志津南地区まちづくり協議会

連絡先  
志津南市民センター (563-6206)

### 2期目の政策について説明する橋川市長



市民センターでタウンミーティング開く

## 橋川市長が政策を説明 意見、質問に耳傾ける

その後、出席者から福祉、協働、環境、交通、教育などについて質問や意見が出され、市長がその一つ一つに丁寧に答えました。意見交換の要旨は次の通りです。

#### 【高齢者福祉】

Q 高齢者福祉の充実とあるが、地域サロン事業支援補助金などの内容等はまちづくり協議会などに周知されているのか。また、まちづくり協議会への地域一括交付金の対象に今後ならないのか。

「さらに草津」宣言を掲げて2期目に入った橋川涉市長がそのマニフェスト実現のためのロードマップ(実行計画)策定に向け、市民の声を反映させるためのタウンミーティングが5月26日、志津南市民センターで開催されました。

タウンミーティングには志津南地区をはじめ各地域から45人が出席。前半は、橋川市長が4つの政策、多岐にわたる施策の実行計画案を説明しました。

A 補助については社会福祉協議会を通じて周知している。現在は対象になっていないが、将来的には一括交付金化していきたい。

Q この地域の人口統計をみると、団塊世代がものすごく多く、少子高齢化で人口が減っている。

く。昨年度の0歳児が10人、1歳児は6人。現在全体の人口は約2600人であるが、20年後は、65歳以上が1200人、そのうち約900人が75歳以上という偏った人口構成になると見込まれる。そういった中で、特に独り暮らしの高齢者対策、災害時要援護者登録制度についてはどうか。

災害時要援護者登録制度については、名簿の作成などをしていただいているが、高齢者がお互い知りあい、助け合いができるのかは、日頃からの地域の取り組みが大事だ。まちづくり協議会の活動の重点施策として取り組んでいただき、それを支援していきたい。

今後、市はタウンミーティングで出された意見などを考慮し、財源などを調整の上「さらに草津」宣言ロードマップとして、10月には、その確定版を公表する予定にしています。

A 高齢者福祉を行政や、地域としていかに対応していくかは、非常に大切なことであり、将来を先取りして今から考えていかなければならない。私としては、一つは元気な高齢者が弱い高齢者を助けるといふ地域づくり。例えばいきいき百歳体操や高齢者が活躍できるようなコミュニティビジネスなども進めていかなければならないと考えている。

志津南地区では「ふれあいハウス絆」がオープンしたが、こうした場を設けて、日頃から人間関係を作っておくということも大事かと思う。独り暮らしの高齢者についても、地域で助け合いと、いざというときのため

「まち協だより」は6面に  
第15回志津南ふれあい夏まつりは7月28日(土)午後5時から若草中央児童公園で開催されます。チケットは6月中旬に班長さんまで申し込んでください。

志津南地区では「ふれあいハウス絆」がオープンしたが、こうした場を設けて、日頃から人間関係を作っておくということも大事かと思う。独り暮らしの高齢者についても、地域で助け合いと、いざというときのため

た放射能が心配であり、母親として学校給食センターに測定器をおいていただければと思う。  
A 小学校の米飯は、新しい給食センターではご飯が炊けるので、教育委員会には保護者の意見を聞きながら米飯を増やしていくように言っている。

#### 【学校給食】

Q 学校給食で、米飯の推進を

食材の放射線の測定については現在は出荷元で調査をされていることや産地確認で対応している。また、県がサンプル調査に取り組むということでありその状況を見ながら検討していきたい。

まち協だより

第2回理事会 (5月5日)

①集会所と倉庫の鍵が多数複製され、だれが持っているのか分からない状況になっているため、鍵の所有者にいったん市民センターの事務局に鍵を持参してもらい、リストを作成して管理しやすい状態にする。

②公園等維持管理謝礼金について。従来は各町内会で草津市に申請していたが、今後は若草地区分はまちづくり協議会が一括申請し、直接まちづくり協議会の口座に振り込んでもらうことに改め、各町内会の事務を軽減する。

③自主防災組織事業補助金について。従来は各町内会で草津市に申請し、それをまちづくり協議会に納める形になっていたが、今後はまちづくり協議会には納めず、各町内会でそれぞれ活用することに改める。志津南地区全体で合同訓練をする場合の費用は、その時に各町内会から支出する。

にぎわうふれあいハウス



今年2月、志津南社協が若草第六集会所にふれあいハウス「絆」をオープンしてから3か月余りが過ぎました。この間、高齢者から幼児まで幅広い皆さんが訪れ、新たなつながりが生まれています。これまでに、喫茶コーナーを中心に約1000人(一日平均約13人)の利用者がありました。子どもコーナー、マジックコーナーも多くの皆さんが利用し、麻雀愛好者による同好会もできました。また、隣接の青山地区はじめ他地域の方も見えて、喫茶でくつろいだ後、帰られる時に「自分達のところにもこんな場所がほしい、また来ま

ふれあいハウス、出足は上々

3か月で利用者が千人超える

「絆」をオープンしてから3か月余りが過ぎました。この間、高齢者から幼児まで幅広い皆さんが訪れ、新たなつながりが生まれています。これまでに、喫茶コーナーを中心に約1000人(一日平均約13人)の利用者がありました。子どもコーナー、マジックコーナーも多くの皆さんが利用し、麻雀愛好者による同好会もできました。また、隣接の青山地区はじめ他地域の方も見えて、喫茶でくつろいだ後、帰られる時に「自分達のところにもこんな場所がほしい、また来ま

す」とうれしい言葉をかけて下さいました。2階の子どもコーナーでは、子供たちや乳幼児たちが、ゲームやおもちゃやフランクなどで楽しく遊んでいます。また、時には、大型スクリーンで映画「美女と野獣」のDVDを親子で見ている様子があります。そのほか市立図書館から絵本や紙芝居も借りています。

上級生たちの歓迎を受ける新一年生



子ども会の新入生歓迎パーティーが5月12日、志津南市民センターで行われました。当日は少し肌寒い日でしたが、一年生12人を含む84人もの子ども達が参加しました。

子ども会が新入生歓迎

歓迎会は会長の清水さんのあいさつの後、4つの縦割りチームに分かれてスプリンリレーや紙ひこうき大会などチーム対抗戦で競いました。紙ひこうきは自分で折った紙ひこうきをゴールがけて飛ばします。紙ひこうきがうまく折れない一年生や低学年の人には高学年の人が教えてあげていました。チーム対抗戦は緑チームの勝利でした。また、その後のビンゴゲーム大会も大盛り上がりで最後はうまくビンゴになった子もそうでない子もおみやげを貰って満足そうでした。

初めの自己紹介の時には照れていた一年生のみんなも楽しんでいました。

麻雀コーナーでは、愛好者による定例会(今回は6月)や、初心者の方に麻雀を覚えてもらう活動も行っています。一度のぞいてみてください。喫茶コーナーには散歩の途中に立ち寄りたり、ミニ会合の利用も多く、挽きたてのコーヒーを飲みながら話も弾んでいます。また、5月に開いた懐かしい「歌声喫茶」には、30数人が大きな声で合唱し気分をリフレッシュしていました。歌声喫茶は毎月第3火曜日(11時から)に開催しています。

また、地域支えあい支援活動では、電気スタンドの修理、パソコン相談などの依頼もポツポツあります。気軽に相談ください。ふれあいハウス「絆」を地域住民の憩いの場、よろず相談・支援の場として気軽に利用して頂き、住民同士の助け合いの絆づくりにお役にたつことをスタッフ一同願って活動しています。どんどん活用していただければ幸いです。

子ども会が資源回収

子ども会の資源回収作業が5月20日、27日の2回にわたって行われました。20日は31人、27日は23人が参加、各家庭の前に出されている新聞、ダンボールなどをゴミステーションまで運びました。高学年の子が進んで大きい荷物を運んだり、小さい子が困っていると助けてあげたりと、みんな力で合わせて運びました。

子ども会資源回収は資源ごみを回収したごみをステーションに運び込む子どもたちを新聞や雑誌、段ボールと品目ごとに纏めて家の前に出して頂く、子どもが回収活動する日以外は黒田紙業さんが回収しています。小さな紙類も出せばごみではなく資源になります。住民の皆さまから出して頂いた資源ごみは子ども会を運営する財源となり、大切に使用させて頂いています。



なお、黒田紙業さんの資源回収は次の要領で実施していますのでぜひご利用下さい。実施日 毎月第1・3日曜日は1丁目〜5丁目、第2・4日曜日は6丁目〜8丁目・岡本西・グリーンピア 回収品 古新聞(ちらしも一緒に結構です)・古雑誌・ダンボール・古着 回収品はご自宅前に出しておいて下さい。

# 健推がはつらつウォーキング

志津南地区健康推進員連絡協議会（健推）は5月12日、「は



元気よく新緑の道歩く

つらつウォーキング」を実施しました。回を追うごとに参加者が増え今回は31人が春のハイキングを楽しみました。

朝は雨がパラつき肌寒く感じられましたが、午前10時に市民センターを出発、鮮やかな新緑を目しながらウォーキング、11時半、予定通り目的地の桐生キヤンプ場に到着しました。

健推が用意したおにぎりで昼食タイム。続

いて自己紹介、じゃんけんゲームを楽しんだあと、「たまみずきの道」（ユニバーサルデザイン）の遊歩道）を1時間ほど歩き駐車場に。ここでは、みんな「指遊び」をしたり、歌をうたったり楽しいひと時を過ごしました。

初参加の方も増え、会話もはずみ、ふれあいの場となった有意義な一日でした。「最後まで歩けるか不安だ」といっていた人も完歩されました。

これからも地域の皆様の健康づくりを手助けする活動を続けていきたいと思っております。ご協力、よろしくお願ひします。（代表・小早川敏子）

# 若寿会が中央公園の草刈り



若寿会と若草一味クラブが5月10日、恒例の若草中央公園草刈り清掃を合同で行いました。

今回も若草ソフトボールクラブの皆さんの応援を得て総勢40数名の参加しました。

若草中央公園は町内の子どもの達の野球やサッカーの練習場として、また高齢者の健康維持のためのグラウンドゴルフなど、多くの方が利用しています。

冬の寒さに耐えて、

春の訪れとともに雑草がぐんぐんと長くなりました。成長した雑草がさっぱり刈り取られ広々としたきれいな公園になりました。

みなさんご協力ありがとうございました。

## 緑化ボランティアが初仕事

緑化ボランティアグループ（降矢義夫代表）は、5月12日、地域の環境美化活動を行いました。

同グループは、従来社協で活動していた環境美化グループとと垣根剪定グループが一つにな

## 言葉の葉こぼれ話

### 神々の名

欧米人の名前には、そのよってきたところを探ってみると、なかなか興味深いものがあります。

例えば、古代世界の英雄、マケドニアのアレクサンドロス大王はアレックス（守護者）十アンドロス（人民）で、元の意味は「人民の守護者」と

なります。

また新約聖書に登場する聖人ヨハネ（John）はイエスの使徒の一人ですが、国によって、ジョン、ヨハン、ジョバ

ンニ、ホアン、ハンス、イワン、ショーンとなり、ジョンなどは、息子（son）がくっついてジョンソンという姓に変わります。

キリスト教世界では、神や守護聖人が生活に深く根ざしてお



り、大天使ミカエルはマイケル、ミッシェル、ミゲルなどの名前に使われます。ミカエルは誰が神に似ているか」の意で、イ

スラエルでは「神と闘う人」という意味になります。ミカエルの「エル」は「わが神」の意の「エリ」に由来しており、十字架上でキリストが叫んだ言葉と言われます

が、イスラム教のアラー、さらにエジプトの古代神ラーにもつながるもので、いずれも「光」

を意味します。

そういえば、ギリシャ神話の主神ゼウスは「明るい空」という意味で、やはり「光」を表しています。ゼウスはローマ神話ではユピテルにあたり、いずれも天候を支配する神です。英語名ではジュピターといい、木星を指すのはご存知の通りです。

仏教でも、阿弥陀は無量光と訳されます。日本の神話ならアマテラス。別名ヒルメムチ、「日女」「日の妻」と解されています。神が無限の光を意味しているのは、どうやら洋の東西を問わないようです。

り、ふれあいハウスを基点として活動するようになったものです。グループ17人中、当日は都合のつく13人が参加し、5月としては少し肌寒い中での作業となりました。若草一丁目バス停周辺、りょうぶの道周辺および六丁目児童遊園の3か所です。約1時間半、清掃活動を行った結果、すっきりした姿に変身いたしました。

特に「グリーンヒル」入り口となる部分については、この住宅地の顔として大切な場所です。これからも常にすっきりと「グリーンヒル」の看板が見えるようにしていきたいものです。

清掃作業後、ふれあいハウス「絆」においてコーヒーを飲みながら、なごやかに今後の活動についての話し合いがもたれました。

6月からは「毎月第2火曜日」を作業定例日としてボランティア活動を行うことにしています。作業当日は多少騒音が出ますが町内の皆様方のご協力をお願いいたします。また、この緑化ボランティア活動に参加者の募集は随時行っています。同時に町内の公共敷地での雑草等お気づきの点がございましたら、ふれあいハウス「絆」までご一報下さい。

# こよみ

- 6月16日 (土)
    - ☆健康ウォーキング
    - 8:15 若草中央公園集合
  - 6月23日 (土)
    - ☆社会奉仕
    - 8:30 ~
  - 6月24日 (日)
    - ☆第5回ニュースポーツ大会
    - 9:00 ~ 講習会
    - 10:00 ~ 大会
  - 6月25日 (月)
    - ★エプロンシアター
    - 10:00 ~
  - 6月26日 (火)
    - ★地域サロン：懐メロを歌う会
    - 10:00 ~ 11:30
  - 6月27日 (水)
    - ★やすらぎ学級
    - 13:30 ~ 17:00
  - 7月6日 (金)
    - ★ふれあい昼食会
    - 12:00 ~ 13:00
  - 7月7日 (土)
    - ☆健康ウォーキング
    - 8:15 若草中央公園集合
  - 7月10日 (火)
    - ★地域サロン：懐メロを歌う会
    - 10:00 ~ 11:30
- 
- 毎週金曜日
    - ☆ふれあい喫茶 (お茶の間)
    - 10:00 ~ 12:00
    - 若草第五集会所 (五丁目)
  - 金曜日を除く毎日
    - ☆ふれあいハウス「絆」
    - 若草第六集会所 (六丁目)
    - ★印の場所は志津南市民センター (公民館) です



## やすらぎ学級が開講

平成24年度「志津南やすらぎ学級」の開講式が5月23日、志津南市民センターで行われました。

開講式に引き続き第一回の講座(公開講座)が開かれ、41名が参加、昨年に続き、音楽療

法士の尾木八重子さんを講師に「楽しく歌って活き活きとパートII」と題し、参加者は尾木さんのキーボードに合わせて歌いました。写真

最初に「メカカの学校」をみんなで三部輪唱してノド慣らしをした後、今回は、東京・大阪にちなんだ曲のオンパレード。

まず「東京ラプソディ」と「大阪ラプソディ」を混ぜて合唱したり、男女別パートに別れて歌ったり、尾木先生がメロディをつけて「赤い」と言われた後に続いて、参加者が続きを歌うイントロクイズ形式など色々な歌い方で合唱しました。

最後は、曲に合わせて鳴子を打ち鳴らしながらの合唱で大いに盛り上がり、楽しいひと時を過ごしました。

## 大津市仰木の棚田を見学する参加者



## 古今東西が棚田見学

市民センターの教養文化講座 古今東西「復興く近江のかくれ里の今」の第1回が5月28日開かれました。

今回は大津市の比叡ゆほ本舗

「ゆほ八」でゆほ工場を見学、このあと仰木平尾地区で棚田を見学しました。

「ゆほ八」ではゆほ揚げを体験し、できたての汲み上げゆほを試食しました。ゆほのおいしさは受講生の方々に好評でした。

仰木平尾地区では、天候に恵まれ、心地よい気候の中、素晴らしい景色の棚田について、「平尾 里山・棚田守りの会」の方々から説明を受けました。その後受講生は棚田を散策しました。質問も飛び交う中、棚田の保存と都市住民との交流などに努力されている「守り人の会」の方々の活動内容を聞き、みなさん興味深く耳を傾けていました。

## 折々の記



わが家は七人家族である。しかも、四世代にわたっている。つまり、妻の母、私達夫婦、娘夫婦と孫娘二人。あわせて四世代七人である。上は八十九歳から下は六歳まで、実に八十三年の歳の差があるが、結構仲良く遊んでいる。そして、妻の母ー妻ー娘ー孫娘という幹に、私と娘の夫が蟬のようにくっついていく女系家族である。

### 大家族

しかし、二匹の蟬は婿養子にはいった訳ではないので、郵便受けには苗字が三つ並んでいる。

何しろ七人であるから、食材の量が半端ではない。妻と娘が買い出しに行くと大きな買い物袋にどっさり仕入れて来て、冷蔵庫や水屋に詰め込むのだが、あつという間にカラカラになるので、しょっちゅう買い物に出かける。でも、孫娘が中心だからアイスクリームは欠かしたことがない。

また、洗濯物の量もすごい。何回も洗濯機を回し、四本の物干し竿に満杯でぶら下がっている。晴れた日は外に干せるからいいが、雨の日は屋内に取り付けた二本の突っ張り棒にすらりと並ぶ。のれんのように洗濯物の下をくぐって、居間と食堂と台所の間を行き来するのである。梅雨が明けるまでは、大量の洗濯物を乾かすために石油ストーブのお世話になっている。

一つ屋根の下に七人が住んでいる、といっても、そう大きな家ではない。四LDKの二階建てで、三十三坪程度である。

だから、私の書斎はない。いや、以前はあったのだが、三年前の春、孫娘の小学校入学を機に、子供部屋として没収された。かつての書斎には今や二つの学習机と二段式ベッドが居座っている。その結果居間の片隅に机が置かれ、私の書斎コーナーとなった。

しかし、このごろは孫娘が宿題をするのに、私の机を占拠している。だから、家の中で私が落ち着ける場所は、もはやトイレの中しか残されていない。

とはいえ、狭いながらも楽しい「大家族」ではある。

(一家の大黒柱)